



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

明日があると思つてはならない

念仏申し、ゆるぎなき道に歩みを



今年も一年の半分が過ぎて、後半に入ります。新型コロナウイルスの感染は日本でもかなり下火となり、行動制限が解消されたのは有難いことですが、この間に高齢の方々の虚弱化が進んだようであり、寂しいことです。

だが、生死無常の身は年齢にかかわらずなく、みんな同じ、老少不定(年上)のものから先に逝くとは限らない、逆縁ということもある(な)のです。

六〇代の息子さんが、年離れたお母さんを残して急逝されたお葬儀を勤めさせて頂いた時、大変な衝撃を受けました。「何か、基礎的疾患があったのですか?」と尋ねても、「全く思い当たりません」とのこと。高度医療が進んだ現代にあっても、死にゆく命を救うことはままならないのです。

だが、悲しみにじつと堪えて、親せきの人たちに助けられながらも気丈にふるまう老母の姿を見て、「愛別離苦の苦悩をよくぞ、身に引き受けて受け止められていることよ」と不思議にも頼もしく感じました。

この世に生まれた人間が等しく受け

ねばならない苦しみとして、お釈迦さまは「生老病死の四苦と共に、

会者定離(会った者はいつか別れねばならない)、愛別離苦(愛しいものとも別れねばならない)、怨憎会苦(憎しみを合つても出会わねばならない)、五蘊盛苦(身体が健康であつても、却つて苦しまねばならない)を説かれました。

我々は「ふん、そんな苦しみもあるのか」と知識として理解するばかりですが、一旦災難が身に降りかかると、往々にして取り乱してしまいがちです。

しかし、このおばあちゃんは先立たれた息子さんへのやるせなき思いを胸に抱きつつも、お念仏申しながら、「俱会一処の世界」(ともに一つの所、

お浄土で出会う世界)に思いを巡らせ、亡き息子さんと対話しておられるのです。

蓮如上人は「仏法は忙しい世間の暇をさしおいて聞かねばならない。それ

なのにあなたは暇ができたら聞こうと思つていないか。それは浅はかなことである。仏法の上から言えば、老少不定の身であるから、明日があると思つてはならない」(蓮如上人御一代記聞書)と言われます。

長寿が当たり前だと思ひ込んで、仏縁から遠ざかる現代の私たちに、「明日があると思つてはならない」とは厳しいお催促です。しかし、このおばあちゃんのゆるぎなきお姿は、仏法聴聞にいそまれた賜物ですね。「俱会一処」(お浄土)の世界に心開かれ、亡き人ともお念仏もろともに心の対話のできる世界を歩みたいものです。

☆ 写真アラカルト ☆

☆行事ご案内☆

7月の門信徒会例会 (原則として第3日曜日朝8時半)

7月17日(日)朝8時半新行事様必ず出席下さい

- ① 盂蘭盆会について
- ② 夏の門信徒会懇志巡回について

◇第3回トライアングル「歌の集い」



6月30日(木)午後1時懐メロ中心、冷茶・コーヒ有

誰でも参加可、無料、ギターとマンドリン伴奏で歌手と大型画面を見て一緒に楽しく歌いましょう。

◇5時の鐘撞き 年中無休、誰でもOK、仏の子供育成合掌して「ちかい」唱和、ご褒美はチョコとガム

◇8月の盂蘭盆会法要 8月15日(月)午前8時半より

納骨堂利用の方や有縁の方々等お参り下さい。

秋季永代経:例年お盆後に秋季永代経をお勤めしましたが近年の猛暑で今年度より1カ月遅れの9月17(土)・18(日)後1時半に変更。(講師加藤正人先生) ご了承下さい。

◇一縁会テレホン法話 ☎059-354・1454 お電話3分法話、5か寺の住職、若院らが週替わりで担当

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索1年分の寺報閲覧可、毎日更新ブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評開設13年11カ月で38万訪問、お悩み相談可、即返信

◇新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方相談下さい

◇法事場所法事場所でお困りの方本堂使用可相談下さい



坊守スケッチ

鏡に映ったカラスの話

散歩中、カラスがカーブミラーに向かって激しく鳴いていた。ミラーに映った姿が敵のカラスだと勘違いして闘いを挑んでいるようだった。

しばらくしてミラーのカラスに襲い掛かったが、激突してあえなく落下した。「アホなカラス」と笑い話にするのは可哀そうだ。カラスは鏡という物を知らないから仕方ない。

抑々カラスは頭のいい鳥だ。毎朝垂坂山の展望台で出会うカラスの親子連れは、木の上から私達のラジオ体操をじっと眺めている。終わるとピョンピョンとホッピング歩きをして茂みに姿を消す。お友達が朝の挨拶に来たようで、微笑ましく思う。

しかし現代人はカラスを毛嫌にする傾向がある。

「カラス鳴くと死者が出る」という迷信を信じている人が多い。何の根拠もないデタラメな迷信だ。昔の葬儀は野辺送り、墓地に死者用のお膳を供え、その一馳走を目掛けてカラスが集まり、そんな迷信が広まったらしい。また現代では都会のゴミ集積場のゴミを荒らす鳥として嫌われ者になる。むしろそれは人間がゴミ出しルールを守らない結果の醜態だ。

おそらく今から百年程前までは、カラスは人間の身近な存在として親しみやすい鳥だった。大正10年野口雨情が作詞した童謡『七つの子』には、当



若坊守の子育て日記No.91

暑い季節が近づいてきました。小学校では、文科省から「子どものマスク着用について」のプリントが配られました。「人との距離が確保できる場合、マスク着用の必要はない」という内容でした。学校生活では、屋外で行う教育活動、体育の授業、登下校などは着用不要ということですが、それは大賛成、熱中症防止にも是非、とは思いますが、子ども達にマスクを付けたり外すという機転を求めるのは難しいでしょう。実際には先生方の指示で行うことになると思います。先日、二年生の長女が生活の授業で町探検に行った際は、マスクなし、お喋りもなし、という指示だったようです。「ねえ、見て」「わあ、すごい」そんな会話も飲み込まれてしまったのでしょうか。大人の私たちはというと、最近知り合った方などはマスクの顔しか知りません。いざ素顔になったらビックリ？がっかり？されるのではなどと考えてしまいます。(笑) 私たちはすっかりマスク生活に慣れてしまったようです。



お知らせ

※6月30日(木)午後1時より『第3回トライアングル歌の集い』を開催。誰でもご自由に参加OK。参加費無料。マンドリンとギター伴奏で、歌手と懐メロ中心に、大型画面で一緒に歌いましょう。休憩時にはコーヒーマービスも有り。

※8月15日(月)午前8時半『五蘭盆会(うらばんえ)法要』

※例年お盆過ぎの二日間『秋季永代経法要』を今年度より一カ月ずらして9月17(土)18(日)に変更します。総会でも承認済ですが、重ねてお知らせします。

カンパありがとう

藤大慶様、YT様、TS様、他匿名様、お志や切手等寄贈、感謝!

※ 雨音に声を揃えて牛蛙

短夜や未完のままに夢覚める

虹の橋生の涙まで見透かされ

給食の緑茶あげパン夏来る 釋秀龍

月涼しほこりかぶりて腕時計

田植え時のろのろと行くトラクター

★ 編集子より ★

「善正寺だより」343号をお届けします。◇若坊守が、オンラインの習礼(昨年八月)から十カ月経った先月、ようやく二本山で得度式を受け、晴れて本願寺派僧侶の一員になりました。まだまだ未熟ながらよろしくお導き下さい。◇暑い夏はお盆の季節、お浄土の諸仏から見守られていることを忘れず、日々に精一杯勤めたい。合掌。

早いもので今年も半分過ぎました。二月のロシアがウクライナに侵攻した戦争を誰が予測できたでしょうか。過去は変えられませんが、現在と未来は心の持ち方次第で変えられます。どうか悲観せず日々を精一杯生き抜きましょう。やがて過去の苦い経験も糧となつてあなたに忍耐と勇気を与えてくれます。三年に及ぶコロナ禍は、私達の生活を一変させたばかりではなく、人の絆や古き良き「伝統」をズタズタに壊しました。経済的混乱に乗じてコロナ対策持続化給付金をだまし取った詐欺集団は火事場泥棒です。善良な国民には腹立たしい限りです。近年モラルが崩壊し、人の弱みに付け込んだ悪質な事件が氾濫し、まさに末法の時代です。コロナも下火になりましたが油断は禁物。再び海外の観光客から感染が持ち込まれる心配は残っています。一方ウクライナ対ロシアの戦争も依然終息の兆しは見えませんが、このまま長引かせて世界中が食糧危機や経済危機に陥るのか？日本も対岸の火事と静観しているわけにはいきません。こんな不安な状況の中でも皆様にかしこみ心の安らぎを味わって頂こうと、6月30日(木)午後一時より「第三回トライアングル歌の集い」を開催します。ごなたでわご自由に参加できます。ギターとマンドリンの伴奏に合わせて歌手と一緒に大型画面を見ながら、懐古中心に楽しく歌いましょう。参加費は無料でマイク、タイムもあります。どうかお友達とお誘い合わせてご参加下さい。お待ち申し上げます。

合掌

令和四年七月

善正寺坊守 拝